

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

《省令で定める単位数等の基準数相当分》

	学科名	授業科目名	担当教員名	単位時間または単位数	授業内容
1	未来創造IT学科	「プログラミング基礎」	新井 豊	120 単位時間	Python言語の学習を通して、プログラムの代表的な制御構文やコーディングのルールなどについて学ぶ。
2	未来創造IT学科	「AI・ロボットプログラミング」	新井 豊	60 単位時間	人工知能(AI)の技術を活用したロボットプログラムの開発技術を学ぶ。
3	未来観光ビジネス学科	「ホスピタリティⅠ」	酒井 智昭	120 単位時間	今後当校で学ぶホスピタリティ・接客関係諸科目の導入として、接客接遇とホスピタリティの基礎を習得するために座学とロールプレイングによって体系的に学ぶ。
4	未来観光ビジネス学科	「各国文化とインバウンドへのおもてなし」	加藤 直人	60 単位時間	インバウンドの訪日観光客を増加させて、我が国の観光を活性化するために、各国文化学習と、インバウンド接遇上の知識を学習する。
5	文化芸術学科	「ボイストレーニング」	田村 冴子	120 単位時間	腹式呼吸はもちろんのこと、声の仕組みを知ることからはじめ、高音域の声を出す方法、様々な音程の声を出す方法を学び、トレーニングを行う。
6	文化芸術学科	「ダンス」	橋本 真衣	120 単位時間	表現・創作をその中核とし、どの領域にも先んじて体も心も「踊る」という主体的な学び、動きによる表現を通じた他者との対話的な関わりを得ることを学ぶ。
7	未来創造IT学科（通信）	「ITトレンドレクチャー」	田中 英夫	4単位	昨今のITのトレンドに関して、今後のITを牽引するテクノロジーである、DX・IoT・AI・クラウドなどを学習する。
8	未来創造IT学科（通信）	「Javaプログラミング」	丸山 尚哉	2単位	IT分野において現在最も多くのシステムで利用されているJava言語を用いたプログラミングを通して、実践的なソフトウェア開発での基盤となるプログラミングスキルの基礎力を養う。
9	未来観光ビジネス学科（通信）	「基本マナーと国際プロトコル」	酒井 智昭	2単位	国際プロトコルは世界標準の国際儀礼のことで、世界の要人やVIPへの「おもてなし」で用いられる。活躍するステージが世界のどこであっても、どのようなシチュエーションであっても通用する作法を習得する。
10	未来観光ビジネス学科（通信）	「国際ツーリズム～リゾート&世界遺産、観光地理～」	加藤 直人	2単位	国内と海外の観光資源の学習が中心。各地の文化や風習、歴史、自然など様々な視点から、各地域の人々に思いを寄せた学びをおこなう。